令和８年度　立川市立松中小学校　授業改善推進プラン

学校の教育目標	◎やさしく ○かしこく ○たくましく

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
○基礎・基本を身に付け、よく考え、自分からすすんで活動する力 ○人間としてふさわしい人権感覚をもち、温かい心で支え合う力 ○自他の生命と安全に関心をもち、心身ともに健康で明るく過ごす力	①朝学習で課題に取り組ませる。 ②本時のめあてを設定する。 ③問題解決的な学習過程を確立する。 ④自分の思いや考えを表現する場を意図的に設定する。 ⑤考えを共有する場を設定する。 ⑥練習問題に取り組ませる。 ⑦最後まで努力したことを認め、価値付ける。

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	○正しく読み書きをし、言葉を適切に使う力 ○情報同士の関係を理解し、文章や図・表から目的の情報を的確に読み解く力 ○文章を読んで考えたことを、自分の経験と結び付け、論理的に表現・記述する力	・既習漢字の継続的な練習や小テストの実施による定着確認、朝学習や読書週間などによる読書活動の充実を図る。 ・複数の資料、図、表を関連付ける学習活動の設定や語句同士の関係性を可視化・整理する指導の工夫をする。 ・文章の読み取りに基づいて、条件を付けて自分の考えを表現する活動を意図的に設定する。
社会	○様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる力 ○社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力 ○考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力	・学年や単元によって重点を定め、メモ、地図、グラフ、年表、図などにまとめさせたり、情報機器を活用させたりする。 ・自分たちはどうすればよいか、これからは何が大切かなどの問いを設け、自分の意見や考えをもたせる。 ・資料等を用いて作品などにまとめたり、図表などに表したりして、調べたことや理解したことなどを言語化させる。
算数	○数の概念や計算の意味を理解する力 ○文章題から立式をし、問題を解決する力	・朝学習や宿題、隙間時間にプリント、テストパークおよびＡＩドリルを用いて、反復練習の機会を設ける。 ・問題文を読み、何を聞かれているか、表や図、数直線などを用いて整理するよう指導する。
理科	○適切な実験技能の習得、理科用語の理解 ○実験方法や結果から結論を考察できる力 ○事象や現象に粘り強く取り組み、生活経験と照らし合わせ考えようとする力	・体験的な学習を通した知識・技能の獲得を行えるよう、個別に教材を扱う。 ・問題解決学習を取り入れ、各学年の重点を意識して、単元計画・時間・場を作り、児童の論理的な思考力を育てる。 ・単元の中で粘り強く実験・観察を行える環境を整える。学習した内容と身の回りのことを照らし合わせる時間の設定を行う。
生活	○地域や自然と、自分との関わりに目を向け、その良さに気付く力 ○学習してきたことを表現して伝える力	・自然や地域の人、他学年と交流する場を多く取り入れる。 ・学習した内容をカードやポスターにまとめたり、相手に伝えたりするような多様な発表方法の機会を設ける。
音楽	○曲の良さを味わいながら聴き、思いや意図をもって表現する力 ○互いの意見や表現の良さを認め合い、主体的に聴いたり、表現したりしながら音楽活動の楽しさを味わう態度	・グループ活動を取り入れ、気付いたことや感じたことを他者と交流することで音楽に対する価値意識を広げ、それを表現に生かせるような授業展開を図る。 ・互いの気付きや表現の良さを視覚的に共有できるよう、ICTを効果的に活用する。

図画工作	○材料や用具を活用して、創造的につくったり表したりする力 ○造形的な特徴を基に自分なりのイメージを表す力 ○つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりする態度	・身近で扱いやすい材料や用具を用い、用具の基本的な扱いが身に付くよう、段階を追って丁寧に指導する。体全体の感覚を働かせる活動を取り入れ、のびのびと表現できる場を設定する。 ・材料などに触れ合う時間を大切にし、形や色の組み合わせ、手触りなどの感じを捉えさせ、表したいイメージを造形的特徴と結び付け、効果的に表せるようにする。 ・相互鑑賞の機会を取り入れ、自己肯定感を高めるとともに、多様な表現を互いに認め合えるようにする。 ・児童が自分の思いや考えに自信をもてるよう、共感的に寄り添い指導する。ICT を活用し、児童が日頃から自らの学習活動を振り返る場を設定する。
家庭	○家庭生活に必要な知識・技能 ○学習したことを生活場面に生かそうとする力	・実践を通して家庭生活に必要な基礎基本の知識を学び、定着を図る。 ・学んだことを生かして、自分の思いを実現することのできる調理や裁縫の作品を作る場を設定する。
体育	○基本的な動きや技能の定着 ○自己の課題を見つけ、児童自らが考え、工夫しながら他者にやり方を伝える力 ○運動に親しみ、健康保持増進と体力向上に向かう態度 ○跳の運動、跳躍運動に必要な瞬発力・協調性	・東京アルファの紹介動画を視聴し、動きを長く続ける力を高める運動を実施する。(主な領域:多様な動きをつくる運動遊び、多様な動きを作る運動、体の動きを高める運動) ・学習カードの活用や動画を視聴したり、自分の動きを撮影したりしながら動きのポイントを理解できるようにする。 ・運動をすることの面白さを体験させ、できる喜び、体を動かすことへの素地を築く。する、見る、支える、知る視点も指導する。 ・体育の時間に、しっぽ取りゲームやリアクション・タッチを取れ入れ瞬発力・協応性を高める。
外国語	○コミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能と表現力 ○自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力 ○主体的に英語を用いてコミュニケーションを図り伝え合う態度	・定期的にパフォーマンステストを実施し、そのテストで必要とされる表現等を反復して練習する時間を設ける。 ・何度も聞いたり、話したりして音声に十分に慣れ親しんだ上で、語順を意識しながら書く時間を設ける。 ・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れる。自己表現活動の場面設定を工夫し、自信をもって表現できるようにする。